



9年ぶりの大雪

子どもたちは大はしゃぎ

全国的に雪に見舞われた1月19日、市内でも早朝から雪が降り始め、山間部では10センチ以上の積雪を記録しました。

市内では9年ぶりという大雪に、子どもたちは大よろこび。グラウンドや園庭に積もった雪で、雪合戦や雪ダルマを作っていました。しかし、この雪のため道路が凍結した箇所もあり、車のスリップ事故なども発生しました。



△ワッー！でっかい雪ダルマができるぞ



△園内で雪ダルマを作る中野保育園の子どもたち



市民憲章碑を建立

大淵一小的児童が卒業記念に

市立大淵第一小学校の6年生は、卒業記念事業として校内に市民憲章碑を建て、1月26日除幕式を行いました。この憲章碑は、子どもたちと父兄の手づくりによるもので、石は須津川から運び、土台となった礎石は6年生ひとり1人が家から持ち寄ったもの。6年生は、「後輩たちがこの憲章碑を見ることによって、富士市民として誇りを持ち、心のみちしるべになれば…」と話していました。



市民憲章碑を読む大淵一小的の6年生

健康でいつまでも若く！

市教育委員会主催による「高齢者健康体操教室」が、3月12日までの毎週月曜日鷹岡公民館で開かれています。

参加者は、60歳以上のお年寄り約50人。かんたんな軽体操から、音楽に合わせたリズム運動やストレッチ体操などを行っています。

参加者のほとんどが女性のため、健康でいつまでも美しくありたい—という雰囲気を感じさせる健康体操教室でした。



▽これも美容のためにいいのかしら...

▶▶▶ 熱気ムンムンの文学講座 ◀◀◀

9年ぶりに降ったという雪の中、1月19日市立西図書館で児童文学講座が開かれました。

会場は、子どもを持つお母さん方を中心に約70人の人達で熱気ムンムン。「子どもに読書はなぜ必要か」(講師代田昇氏)の演題にみんな熱心に耳をかたむけていました。



△外は雪でも会場は熱気でムンムン

吉原三中が見事栄冠を獲得

「全国教育美術展」で放送協会々長賞

日本の子どもの展覧会では、最も伝統があり、レベルも高いといわれている「第43回 全国教育美術展」に、市立吉原第三中学校が日本放送協会々長賞を受賞しました。

この美術展には、全国から2,937校14万1,000点の応募があり、日本放送

協会々長賞はこの中のわずか3校。

その中の1校として吉原第三中学校が選ばれたものです。

同校で美術を担当している望月五朗先生は、「素材としては、自分たちの住んでいる地域の自然を取り入れるよう指導した…」と話していました。



絵画制作をする美術部員